

コマンドの説明

制御コマンド

プログラムスタート プログラムの先頭に必ず入れてください。

3 回繰り返す ★のところにコマンドを入れると、指定した回数、繰り返し実行します。

多重ループ（繰り返しの中に繰り返し）も可能です

もし～なら ▲
YES ★
▲の所に条件コマンドを入れます。その条件が成立すれば、★に入れたコマンドを実行します。条件が成立しなければ、※に入れたコマンドを実行します。

もし～なら ▲
YES ★
No ●
▲の所に条件コマンドを入れます。その条件が成立すれば、「YES」(★)のコマンドを実行します。条件が成立しなければ、「No」(●)のコマンドを実行します。

条件コマンドには、
SWのON/OFF、
指定した数値よりも明るい暗いか
指定した数値よりも温度が高いか低いか
があります。
現在の温度が変数コマンドで
計測した値よりも高いか低いか
を比較します。

- SW=ON
- 明るさ >= 50
- 温度 > 25
- 現在の温度が変数 x より高い

LED点灯コマンド

赤 1 秒点灯 選択した色で、LEDを点灯させます。点灯時間は0.25秒から31.75秒まで、0.25秒ずつ指定できます。

★部分をクリックして、点灯色を選びます。

Red: 255 Green: 255 Blue: 255 で 1 秒点灯
光の3原色である、赤、緑、青を数字で指定して光らせます。
0(暗い)～255(明るい)を指定できます。

赤をフェードインする 指定した色をフェードイン・フェードアウトします。
フェードイン : だんだん明るくなります
フェードアウト : だんだん暗くなります

赤を連続点灯 指定した色で、LEDを点灯させ続けます。タイマ命令や信号待ち命令と組み合わせで使用します。

バックライトを 100 % で 1 秒間点灯する
時計のバックライトを指定の明るさと秒数で点灯させます。
連続点灯と消灯命令もあります。

変数コマンド

変数 x に代入する 温度を測定し、変数 x に保存します。この値は、プログラム中に何度も使えます。例えば、x で計測した 10 秒後の温度と比較する場合に使用します。

サウンドコマンド

確認音 1 確認音 1~3 の 3 種類の音を鳴らせます。

音プログラムを再生する
確認音 1~3 の 3 種類の音を鳴らせます。
「音プログラムを再生する」は、自作の音楽をプログラム中に鳴らすことができます。

タイマコマンド

動作停止 1 秒 タイマコマンドは、指定した時間 (1 ~ 255 秒) プログラムが止まります。

動作停止 1 秒 or 音センサ

動作停止 1 秒 or SW センサ

動作停止 1 秒 or 明るくなるまで 50

動作停止 1 秒 or 暗くなるまで 50

動作停止 1 秒 or 温度 25 度

例 左の例では、100 秒を計測中に、SW スイッチを押すと、タイマの計測を止めて次の命令に進みます。

信号待ちコマンド

音センサ信号があるまで待つ

SW ボタンが押されるまで待つ

温度が 25 度になるまで待つ

明るくなるまで待つ 50

暗くなるまで待つ 50

信号入力があるまで待つ

アラーム信号があるまで待つ

信号待ちコマンドは、それぞれのセンサに入力があるまで、プログラムが停止します。

「信号入力があるまで待つ」
別売の接続ケーブルを使って、2 台のオーロラクロックを接続し、「信号出力」命令と合わせて使います。

「アラーム信号があるまで待つ」
アラーム時刻を設定して、その時刻になるまでプログラムが停止します。

出力コマンド

信号出力

DC モータを 1 秒動かす

豆球を 1 秒動かす

信号出力端子に別売の SK-01 ケーブルを接続して使います。

「信号出力」は、2 台のオーロラクロックを接続したときに使います。

「豆球」や「DC モーター」は、別売の UCK-10 の豆球、DC モータを動作させることができます。